

令和8年度
兵庫県中播磨県民センター重要施策（案）

令和8年2月
兵庫県中播磨県民センター

目 次

中播磨県民センター 重要施策体系	6
------------------	---

<u>I 多様な人が行き交う「交流」中播磨</u>	8
----------------------------------	---

1 姫路城^{プラスワン} + 1 の交流促進	8
(1) 完成から 150 年 銀の馬車道沿線の魅力発信等	8
(2) 地域の持続力強化	9
(3) 「海業」に対応した妻鹿漁港の魅力発信	9
(4) 中はりま食文化の発信	10
2 播磨臨海地域の中心を担う姫路港の活性化	10
(1) 姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル	10
(2) 国際物流ターミナルの整備	10
(3) 背後圏企業へのポートセールス活動の展開	10
(4) クルーズ客船誘致活動の強化	11
(5) カーボンニュートラルポートの形成	11
(6) 姫路港ふれあいフェスティバル	11
3 交流を支える交通基盤の整備	11
(1) 播磨の中心市街地（姫路市）の骨格道路網形成	11
(2) 日常生活や地域を支える道路整備	12
(3) 「(仮称) 道の駅姫路」の整備	14
(4) 播磨臨海地域道路の整備促進	14
(5) J R 姫新線・播但線鉄道交通活性化推進事業	14
<u>II 新たな力が生まれ続ける「活力」中播磨</u>	15

1 ものづくり力の強化と新たな挑戦への支援	15
------------------------------	----

(1) 高校生と企業の新ビジネスにつながるアイデアカフェ	15
------------------------------	----

(2) ものづくりを支える人材確保支援.....	15
(3) 産学官連携による「中はりま産業力」強化.....	16
(4) カーボンニュートラルポートの形成（再掲）	16
2 持続可能な農林水産業の推進.....	16
(1) 中播磨農業パワーアップ作戦.....	16
(2) 次世代につなげる播磨の水産業.....	17
(3) 農業生産基盤の整備.....	17
(4) 水産資源を守り育てる増殖場の整備.....	18
(5) 中播磨地域「農産物をまもり・ひきつぐプロジェクト」	18
3 公民連携で取り組む地域の活性化.....	19
(1) 地域の持続力強化（再掲）	19
(2) 産学官連携による「中はりま産業力」強化（再掲）	19
<u>III ステキなご近所さんで支え合う「つながり」中播磨.....</u>	19
1 人と人とがつながり支え合う地域づくりの推進.....	19
(1) 中播磨地域づくり活動応援事業.....	19
(2) 農福マッチングプロジェクト.....	20
(3) 中播磨フードドライブの実施.....	20
(4) 地域づくり研修会の開催.....	20
2 青少年等の健全育成活動の推進.....	21
(1) 親子、世代間ふれあい事業の実施.....	21
(2) スポーツ活動を通じたこどもの健全育成の推進.....	21
(3) 青少年健全育成・非行防止啓発事業.....	21
3 健康で安心できる暮らしづくりの推進.....	21
(1) 地域包括ケアシステムの構築支援.....	21
(2) 地域を支える看護人材の確保.....	22

IV 次代に受け継ぐ「ふるさと」中播磨	22
1 安全安心な暮らしの推進	22
(1) 災害に強い社会基盤整備の推進.....	22
(2) 老朽化対策の推進.....	24
(3) 防災リーダーフォローアップ講座の開催	24
(4) 「ストップ・ザ・交通事故！県民運動」啓発活動強化事業.....	25
(5) 次世代（若者）の消費生活力向上支援事業.....	25
(6) 重大家畜伝染病（高病原性鳥インフルエンザ等）対策の推進.....	25
2 シビックプライドの醸成	26
(1) 小学生への社会基盤整備PR事業.....	26
(2) 中播磨地域ビジョンの推進.....	26
(3) 未来へつなぐ中はりまの農業水利の歴史事業.....	26
(4) 伝統文化を通じた青少年の文化力アップ.....	26
3 次代へつなぐ豊かな自然の維持・保全とゼロカーボン社会の実現	27
(1) 県市連携による家島の野生動物被害対策.....	27
(2) 鳥獣被害対策の担い手の育成.....	27
(3) 野生動物の被害対策の推進.....	27
(4) 持続可能な森林経営に向けた森づくり	28
(5) 環境学習の推進.....	28
(6) カーボンニュートラルポートの形成（再掲）	28
(7) 中播磨フードドライブの実施（再掲）	28

ひと 多様な地域に、個性が輝く中播磨

I 多様な人が行き交う 「交流」中播磨

1 姫路城+1の交流促進

- (1) 完成から150年 銀の馬車道沿線の魅力発信等【拡充】
- (2) 地域の持続力強化【新規】
- (3) 「海業」に対応した妻鹿漁港の魅力発信【新規】
- (4) 中はりま食文化の発信

2 播磨臨海地域の中心を担う姫路港の活性化

- (1) 姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル
- (2) 國際物流ターミナルの整備
- (3) 背後圏企業へのポートセールス活動の展開
- (4) クルーズ客船誘致活動の強化【拡充】
- (5) カーポンニュートラルポートの形成
- (6) 姫路港ふれあいフェスティバル

3 交流を支える交通基盤の整備

- (1) 播磨の中心市街地（姫路市）の骨格道路網形成
- (2) 日常生活や地域を支える道路整備
- (3) 「(仮称)道の駅姫路」の整備
- (4) 播磨臨海地域道路の整備促進
- (5) JR姫新線・播但線鉄道交通活性化推進事業

II 新たな力が生まれ続ける 「活力」中播磨

1 ものづくり力の強化と新たな挑戦への支援

- (1) 高校生と企業の新ビジネスにつながるアイデアカフェ
- (2) ものづくりを支える人材確保支援【拡充】
- (3) 産学官連携による「中はりま産業力」強化
- (4) カーポンニュートラルポートの形成（再掲）

2 持続可能な農林水産業の推進

- (1) 中播磨農業パワーアップ作戦
- (2) 次世代につなげる播磨の水産業【拡充】
- (3) 農業生産基盤の整備
- (4) 水産資源を守り育てる増殖場の整備
- (5) 中播磨地域「農産物をまもり・ひきつぐプロジェクト」

3 公民連携で取り組む地域の活性化

- (1) 地域の持続力強化【新規】（再掲）
- (2) 産学官連携による「中はりま産業力」強化【拡充】（再掲）



I 多様な人が行き交う「交流」中播磨

1 姫路城 + 1 の交流促進 プラスワン

世界遺産姫路城に加えて、銀の馬車道やフィールドパビリオン等の中播磨地域の豊かな魅力を巡る「+1」ツーリズムを促進し、交流人口の拡大を図る。

(1) 【拡充】完成から150年 銀の馬車道沿線の魅力発信等

13,575千円 (地域躍動)

姫路城+1の周遊観光を目指し、中播磨のグルメや歴史遺産といった様々な観光資源をPRする。加えて、銀の馬車道完成から150年という節目の年を迎えることから、これを記念し様々なイベント等を実施することにより、地域外からの誘客を促す。

① (新規) 銀の馬車道グルメ手帖で49kmの味覚を楽しもう

播磨と但馬をつなぐ銀の馬車道完成を契機に両地域の文化や食の交流がはじまったことを記念し、沿線にある飲食店等(銀馬車関連メニューを提供している店舗を含む)49店舗を掲載したクーポン付き冊子を作成し、他地域からの誘客を促す。

② (新規) 絵本イラストコンテストの実施

令和7年度に公募した銀馬車かばちゃんシナリオコンテスト最優秀賞作品を基にした絵本を作成するため、挿絵となるイラストを募集する。完成した絵本は、沿線の小学校等に配布する。

③ メディア(ラジオ、SNS等)を活用したサイクリングPR

ラジオやSNS等を活用し沿線地域の観光資源を一つのストーリーでつなげ、その交通手段としての自転車の魅力をPRする。合わせてスポーツサイクリング愛好者に向けては、ひょうごサイクリングモデルルート「銀の馬車道・鉱石の道周遊ルート」の魅力をPRする。

④ 見て・触れて楽しむ「銀の馬車道」

各種観光イベントにおいて、銀の馬車道公式キャラクターに扮したポニーを登場させ注目を集めること。

また、キャラクターの情報をSNSで発信することによりフォロワー数のさらなる増加を図る。

⑤ 銀の馬車道ブランドの推進

銀鉱石をイメージした白いカボチャを活用して、ハロウィンや冬至に合わせイベントを実施し誘客を促す。

⑥ 「銀の馬車道」魅力発信

フランスとのゆかりを地域の人に認識してもらう“花つなぎ事業”的支援や、沿線の豊かな自然や文化、歴史等をテーマにした川柳コンテストなどを実施することにより、地域の銀の馬車道愛を醸成し、交流事業の礎を強化する。川柳コンテストについてはこれまでの小中学生の部だけでなく、銀の馬車道150年を題材にした大人の部を新たに実施する。



銀の馬車道
150年



【ラジオ取材の様子】



【公式キャラクターに扮したポニー】

⑦ 銀の馬車道ネットワーク協議会と日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会の運営
2つの協議会を中心として中播磨地域の観光施策を活性化するために、両協議会を支援する。

※上記①②⑤⑥については銀の馬車道ネットワーク協議会総会承認後実施

上記③については、日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会総会承認後実施

(2) 【新規】地域の持続力強化 8,210千円（地域躍動）

中播磨全域への誘客を図り、地域の持続力を強化するため、ひょうごフィールドパビリオンや、銀の馬車道関係施設、観光施設への来訪・体験型コンテンツの利用による滞在時間の延長や観光消費額の向上、播但線の利用を促進する取組を展開する。

① 播但貫く、フィールドパビリオン「周遊型・謎解きスタンプラリー」（仮称）

（但馬県民局との連携事業）

フィールドパビリオン・銀の馬車道等の観光施設や、播但線の利用などを主要なスポットに、中播磨から但馬までを巡る謎解きスタンプラリーを実施し、スタンプを集めた方を対象に地域の特産品を贈呈する。

ア 開催期間：令和8年9月～令和9年2月を予定

イ 実施個所：中播磨及び但馬地域

ウ 実施内容：スマートフォンを利用したデジタルスタンプラリー

「謎解きスポット」「ミッションスポット」「観光スポット」等を設定、
スタンプ獲得数に応じて抽選で地域の特産品を贈呈

② フィールドパビリオン等PR

ア イベント等へのブース出展による情報発信

中播磨地域で開催するイベントに、ひょうごフィールドパビリオンや中播磨地域をPRするためブースを出展する。

イ 地元生活情報誌を活用した情報発信

ひょうごフィールドパビリオンの魅力を読者視点で取材・編集した記事を地元生活情報誌を通じて発信する。

掲載回数：年3回程度（予定）

(3) 【新規】「海業」に対応した妻鹿漁港の魅力発信 2,500千円（地域躍動）

妻鹿漁港は、農林水産省が進める「海業（うみぎょう）」の先進地として、直売所「J F ぼうぜ・姫路まえどれ市場」や漁業見学船の発着場が整備されており、一般客の来訪も多い。こうしたポテンシャルを活かし、効果的な広報を行うとともに、一般来訪者の利便性を向上させる環境（施設）整備を行い、来訪者の一層の増加につなげ、漁港来訪者や地域水産物のファンを確保し、地元水産物の消費を拡大する。



【家島での漁業見学ツアー】

(4) 中はりま食文化の発信 4,300千円（地域躍動）

酒類の地理的表示（G I）の指定を受けた「はりま」の酒をはじめ、姫路おでんや菓子、海の幸など姫路・中播磨の食文化の魅力を発信する。

① 「G I 『はりま』等の酒」海外プロモーション

地域資源である日本酒の海外販路開拓・拡大及び海外の嗜好に合わせた味づくりに取り組むため、海外において、G I はりまの酒の試飲・商談、セミナー等のプロモーションを実施する。

② 姫路食博2026の開催支援

中播磨を中心とした兵庫の食の魅力を全国に発信することで、交流人口の拡大等を促進し、地域経済の活性化を図るため、「姫路食博2026」の開催を支援する。



【リールでの試飲会】

2 播磨臨海地域の中心を担う姫路港の活性化

旅客ターミナルエリアリニューアルの推進や新たな物流ターミナルの整備などにより、姫路港の活性化を図る。また、姫路港が中心を担う播磨臨海地域においてカーボンニュートラルに向けた拠点とするための取組を推進する。

(1) 姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル

旅客船利用者の利便性・快適性の向上を図るため、飾磨地区で旅客ターミナル機能の集約や貨物と旅客の効率的な配置などの再編整備について、関係者と着実に合意形成を図りながら推進するとともに、姫路港の賑わいや魅力を高める取り組みを姫路市と連携して進めていく。

(2) 國際物流ターミナルの整備

背後地域に進出する企業や生産機能の増強を行う企業などの貨物需要の増大や船舶の大型化に対応するとともに、円滑な陸上輸送を確保することを目的として、広畠地区で岸壁や臨港道路の整備等、国際物流ターミナルの整備を推進する。

(3) 背後圏企業へのポートセールス活動の展開

飾磨地区の荷役機械（クレーン）更新を進めるとともに、姫路港背後圏の荷主企業等に対するポートセールス活動を行い、姫路港の利用を積極的に働きかける。

(4) 【拡充】クルーズ客船誘致活動の強化 3,000千円（地域躍動）

令和7年度に造成した上質で特別感ある観光コンテンツをクルーズ船社や旅行会社等へセールスし、クルーズ客船の誘致強化を図る。

クルーズ客船の入港時には、乗客・乗員に印象に残るようなおもてなしを提供して今後の再入港に繋がるよう、効果的な歓迎行事を実施する。

また、クルーズ客船寄港時にSOLAS条約（海上における人命の安全のための国際条約）に則った体制強化のための設備を整備す【クルーズ客船「ル・ルアル」姫路港寄港の様子】る。



(5) カーボンニュートラルポートの形成

姫路港を中心とする播磨臨海地域は、ものづくり・エネルギー産業が集積し、エネルギー使用量等が全国屈指の規模であり、脱炭素化の取組みによる効果が高いエリアであることから、温室効果ガスの排出削減を進めるため、学識者、企業、行政等で構成する『播磨臨海地域カーボンニュートラルポート推進協議会』を設置しており、令和6年12月に策定した「姫路港・東播磨港港湾脱炭素化推進計画」に基づき、2050年にCO₂排出量ゼロ（カーボンニュートラル）を目指す。

(6) 姫路港ふれあいフェスティバル 3,800千円（地域躍動）

港の重要性や海の魅力を発信し、姫路港を身近な港としてPRするとともに、地域で活動を行っている様々な団体に活動発表の場を提供するため、姫路港飾万津臨港公園及び周辺にて「姫路港ふれあいフェスティバル」を開催する。

3 交流を支える交通基盤の整備

暮らしや産業、観光など中播磨地域の元気を支える重要な交流基盤として、利便性・安全性を高める道路の整備や、鉄道の利用促進等を進めることで、さらなる交流を促進する。

(1) 播磨の中心市街地（姫路市）の骨格道路網形成

姫路市流入出交通の集約・分散化を図るための骨格となる放射環状道路のうち、(都)国道線などの放射道路や県道広畠青山線のバイパスなどの環状道路の整備を推進する。

① 放射道路

路線名	延長	種別	位置
(都)国道線〔姫路東工区〕〔(国)2号〕 (姫路市東郷町～神屋町)	0.96km	拡幅 2014(H26)～28(R10)	図-①
(国)312号〔砥堀〕〔(都)大日線〕(姫路市砥堀)	0.32km	拡幅 2016(H28)～28(R10)	図-②

② 環状道路

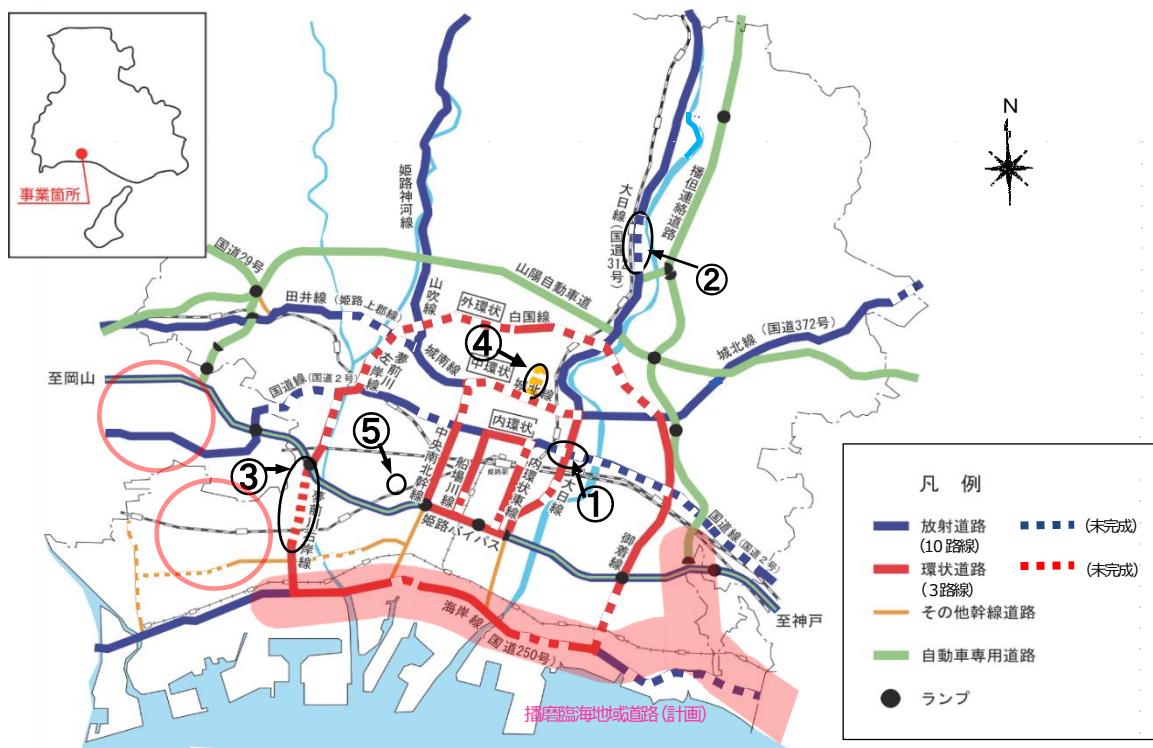
《外環状道路》

路線名	延長	種別	位置
(一) 広畠青山線[夢前川右岸線] (姫路市広畠区才～西蒲田)	2.3km	バイパス 2001(H13)～26(R8) ※暫定2車線	図-③

《その他都市軸を形成する道路》

路線名	延長	種別	位置
(都)城東線〔河間工区〕(姫路市河間町)	0.47km	拡幅 2015(H27)~29(R11)	図-④
(都)荒川線〔岡田南工区〕(姫路市岡田)	0.28km	拡幅 2025(R7)~31(R13)	図-⑤

【位置図】



(2) 一当生活出现困难时,又该做些什么?

① 沿岸域の構造

交通渋滞の解消・緩和のため、渋滞箇所において、右折車線設置やバイパス整備等を推進する

《主な事業箇所》

路線名	交差点名	種別
(一)広畠青山線	京見橋西詰	バイパス 2001(H13)～26(R8) ※暫定2車線
	八幡小学校前	
(主)太子御津線	JR網干駅前	バイパス 2011(H23)～31(R13)予定
(一)大江島太子線	下太田	右折車線設置 2019(H31)～26(R9)

② 踏切対策の推進

踏切による渋滞の解消や歩行者の安全確保を図るため、立体交差化を推進する。

《主な事業箇所》

路線名	延長	種別
(主)太子御津線(姫路市網干区高田)	1.2km	立体交差(JR網干駅) 2011(H23)～31(R13)予定

③ 歩行者・自転車の快適な通行空間の確保

ア 通学路等の安全対策の推進

通学児童の安全を確保するため、学校、警察、道路管理者等が連携して各市町が策定した「通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路において歩道整備等の安全対策を推進する。

《主な事業箇所》

路線名	延長	種別
(一)石倉玉田線(姫路市書写)	0.4km	歩道(W=2.5m) 2017(H29)～26(R8)
(主)姫路神河線(姫路市夢前町山富)	0.8km	歩道(W=2.5m) 2015(H27)～28(R10)
(主)西脇八千代市川線(市川町下瀬加)	0.6km	歩道(W=2.5m) 2023(R5)～29(R11)

イ 自転車通行空間整備の推進

自転車の安全で快適な通行空間を確保するため、中高生の自転車通学の利用状況等を踏まえて、自転車通行空間整備を推進する。

《主な事業箇所》

路線名	延長	種別
(一)和久今宿線(飾磨区山崎台～岡田)	2.6km	自転車レーン 2018(H30)～28(R10)
(主)三木宍粟線(福崎町西治)	1.0km	路肩拡幅 2015(H27)～26(R9)

④ 地方部の道路整備の推進

地域間交流や生活の基盤となる道路の整備を進める。

《主な事業箇所》

路線名	延長	種別
(一)西田原姫路線(福崎町西田原)	0.2km	拡幅 2023(R5)～27(R9)
(主)宍粟香寺線(姫路市安富町狭戸)	0.2km	バイパス 2017(H29)～26(R8)

(3) 「(仮称) 道の駅姫路」の整備 (姫路市飾東町豊国)

姫路市は、世界遺産姫路城を中心に国内外から多くの観光客を迎えており、その7割が自動車で来訪していることから、車利用者の休憩施設や情報発信機能を有する道の駅の整備が求められている。このような中、周辺に車利用者の休憩施設が無いことから、道路管理者として、姫路市と道の駅を一体的に整備することとしており、令和11年度の供用開始を目指して、姫路市と連携して事業推進を図る。

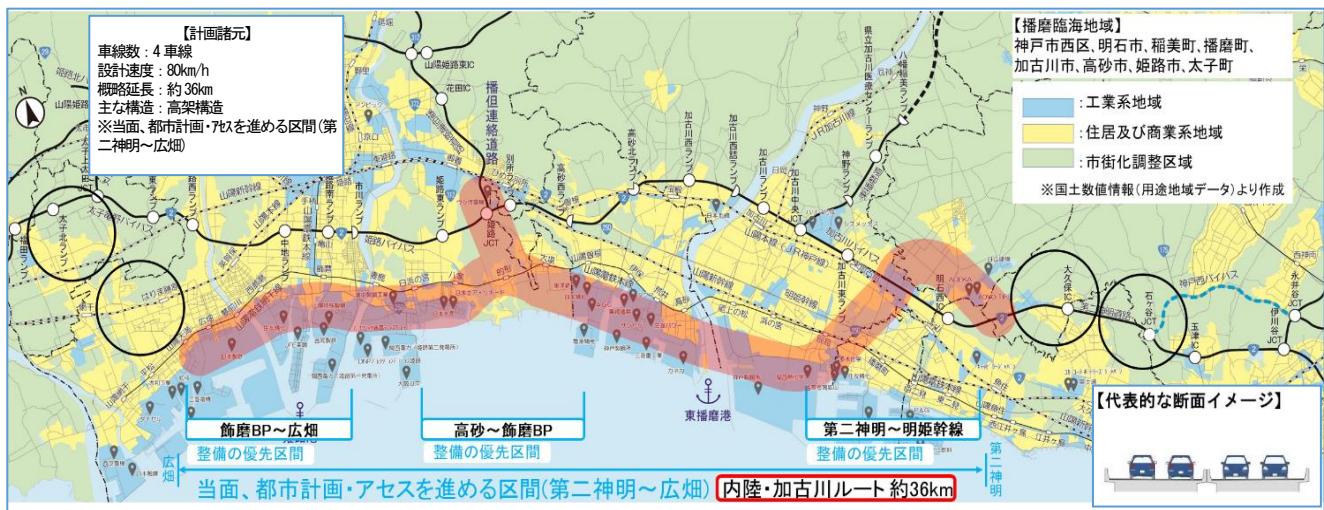
(4) 播磨臨海地域道路の整備促進

播磨臨海地域道路は、国道2号バイパスの渋滞解消、災害時のリダンダンシー確保とともに、ものづくり拠点である播磨臨海地域の発展に必要な道路であり、全線約50kmのうち「第二神明～広畑」の区間約36kmについて、都市計画及び環境影響評価の手続きを進めている。

都市計画手続きでは、令和5～6年度にかけ、計62回（うち姫路市35回）の説明会を開催し、令和7年度には2回（東播磨、中播磨1回ずつ）の公聴会を開催した。

引き続き、都市計画・環境影響評価手続を進めるとともに、早期完成に向け、有料道路事業の導入検討などについても、国へ要望していく。

【播磨臨海地域道路ルート案】



(5) JR姫新線・播但線鉄道交通活性化推進事業 1,050千円（地域躍動）

県と各沿線市町等が連携し、沿線イベントの開催や観光パンフレット及び啓発資材の作成、駅舎・車内の魅力向上を図ることで、乗車人員増や利便性向上へ向け取組を行う。

II 新たな力が生まれ続ける「活力」中播磨

1 ものづくり力の強化と新たな挑戦への支援

産学官の連携による技術交流の促進により、地域のものづくり力の一層の強化を図るとともに、ものづくりを支える人材を確保するため、企業と学生のマッチングを図る機会を充実させる。

(1) 高校生と企業の新ビジネスにつながるアイデアカフェ

1,200千円(地域躍動)

地域経済に貢献できる若手人材の確保・育成を推進するため、中播磨管内企業のうち、ものづくり産業や地場産業、観光関連産業、食品産業など、高校生とコラボレーションした商品開発等を希望する中小企業の担当者と地元高校生との交流会やワークショップ等を実施する。



【アイデアカフェでのピッチコンテスト】

(2) 【拡充】ものづくりを支える人材確保支援 4,500千円(地域躍動)

中播磨地域を支えるものづくり産業の活性化・安定的な発展を図るため、地元企業への認知度向上や、採用力向上の取組み等を行い、地元中小企業の人材確保を支援する。

① 高等学校の進路指導担当者と企業との交流会の開催

高等学校の進路指導担当者と地元企業の採用担当者が一堂に会し、相互理解を深める場を設定し、地元企業への就職を促進する。

② (拡充) 中播磨地域の人材確保に向けた取組の実施

ア 管内企業の人事担当者を対象に、「採用の成功」に向けた採用ブランディング力を高めるためのセミナー等を開催。

イ 地元高校生を対象に管内臨海部のものづくり企業等の魅力を紹介するセミナーを開催。

ウ 中播磨地域の企業に関心のある大学等に出向き、地場産業企業等の魅力を紹介するアウトリーチ説明会を開催。

エ 県内外の学生を対象に、工場見学や企業研究会を開催。

オ 就職活動中の高校生・大学生等の保護者を対象に、地元企業への理解を促すセミナーや見学会を開催。



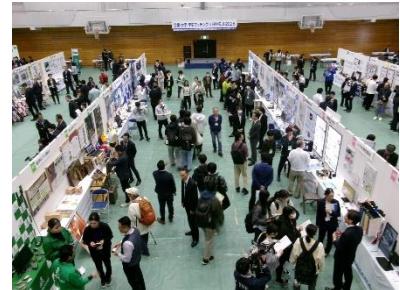
【進路指導担当と企業の交流会】

(3) 産学官連携による「中はりま産業力」強化 1,600千円（地域躍動）

中播磨地域の産学官が連携し、技術交流の促進や雇用機会の創出を支援することにより、地域のものづくり力のより一層の強化を図る。

① 企業・大学・学生マッチング in HIMEJI 2026

地元企業の製品・技術や、大学の研究等の展示を行うことにより、学生に地元企業の製品・技術をPRするとともに、学生に出演企業の製品・技術情報や、企業との意見交換の機会を提供し、地元企業への関心を高めてもらうことを目的に、「企業・大学・学生マッチング in HIMEJI 2026」を開催する。



【企業・大学・学生マッチング in HIMEJI】

② ものづくり企業経営力向上事業

ものづくり企業を取り巻く環境は、カーボンニュートラル、SDGsの視点、循環経済(サーキュラーエコノミー)など劇的に変化している。これらの課題に対応するためには、最新のテクノロジーや社会課題等を習得するとともに、企業同士、企業と大学等研究機関との連携を強化することが重要である。そこで、最新の経営課題への対応方法を学ぶセミナーや意見交換会を開催する。

(4) カーボンニュートラルポートの形成 (p. 11再掲)

2 持続可能な農林水産業の推進

中播磨地域における集落営農組織の経営サポートやスマート農業技術の導入・普及事業を展開するとともに、農地の面的集積とほ場の大区画化を一体的に進めるほ場整備を推進し、農業水利施設の機能が適正かつ持続的に発揮されるよう点検整備や補修に取り組むほか、防災対策として老朽化したため池等を改修する。

(1) 中播磨農業パワーアップ作戦 1,677千円（地域躍動）

中播磨地域では土地利用型農業が盛んであることから、担い手である集落営農組織等の経営安定を図るため、スマート農業技術導入による省力化・効率化を図る。

また、肥料高騰対策や環境負荷低減に向け、「環境創造型農業（減農薬・減化学肥料栽培等）」、「有機農業」の面積拡大を図り、活力ある中播磨農業の展開を目指す。

① スマート農業の推進

省力化や効率化による経営安定に向けて、地域の実情を踏まえたスマート農業機械の活用を促進するため、水稻栽培におけるドローンの活用拡大や衛星画像を活用した栽培管理システム等の利用体制の研究・実証等を行うほか、アシスト機能付きトラクタなどスマート農業機械の効果を体験できる「実演会」を開催する。



【スマート農業機械実演会】

② 土づくりの推進

持続的な農業の実現に向け、「環境創造型農業(減農薬・減化学肥料栽培等)」を一層推進するため、化学合成肥料の投入量低減に向けた緑肥作物栽培による土づくり技術を実証するとともに、有機栽培(無農薬・無化学肥料栽培)技術の実証を設置し、多様な需要に対応した多角的経営(ハイブリッド経営)モデルを育成する。

③ 多様な需要に応える経営モデルの育成

地域で実施される有機農業体験や消費者との交流等の収益性の高い経営モデルを導入し多様な需要に応える農業者を育成するため、消費者や実需者のニーズ把握や生産者と実需者(消費者)とのマッチング(調整)を支援する。

(2) 【拡充】次世代につなげる播磨の水産業 3,700千円 (地域躍動)

地域の主要水産業である二枚貝養殖業等の持続可能な生産体制の確立を図るため、現在の環境に合ったクマエビの水産資源を増やす取組や、マガキ・アサリ等の増養殖生産における新技術の導入を推進するとともに、カキ養殖で発生したカキ殻を活用した漁場の底質改善に取り組み、水産資源の増大を図る。

① (新規) 播磨の特産魚の開発支援

増殖の期待できるクマエビの放流効果を高める取組みや食害魚であるクロダイの駆除及び利用の取組、新技術を用いた養殖方式の導入、アサリの新たな種苗生産のほか、新たな新規養殖魚種のチャレンジを支援し、漁家の経営安定と所得向上を目指す。

② カキ殻を活用した持続可能な漁業生産へ向けた検討

水産資源の回復による持続可能な漁業の実現に不可欠な底質改善を目指し、カキ養殖で発生するカキ殻等を海底に散布することにより、ゴカイなどの底生生物の発生を促す実証事業を実施する。

(3) 農業生産基盤の整備

農業の競争力強化に向け、未整備地域のほ場整備を推進するとともに、ほ場整備済の地域では、農作業の効率化のための大区画化・用水路のパイプライン化等を進める。

また、頻発するゲリラ豪雨や南海トラフ等の大規模地震に備え、ため池等農業水利施設の防災・減災対策を推進する。

① ほ場整備【県営】 7地区

事 業 名	地区名	所 在 地
経営体育成基盤整備事業	あまじ区	神崎郡市川町甘地
	高岡福田	神崎郡福崎町高岡、福田
	須加院	姫路市香寺町須加院
	屋形	神崎郡市川町屋形
	宮置	姫路市夢前町宮置
	太市西部	姫路市西脇・揖保郡太子町広坂
	山崎	神崎郡福崎町山崎

② ため池の改修【県営】 8 地区

事業名	地区名	所在地
ため池等整備事業	竹太郎上池	姫路市林田町下伊勢
	相合池	姫路市飾東町佐良和
	別所横池	姫路市別所町北宿
	古法華池	加西市東剣坂町
	室谷上池・下池	神崎郡市川町東川辺
	直谷池	神崎郡福崎町山崎
	大池	神崎郡神河町寺前
	摺鉢池	姫路市上大野

③ 井堰等の改修【県営】 4 地区

事業名	地区名	所在地
農業用河川工作物応急対策事業	書写	姫路市書写
	阿成	姫路市飾磨区阿成
基幹水利施設ストックマネジメント事業	屋形頭首工導水路	神崎郡市川町屋形
	西光寺野Ⅲ期	姫路市・福崎町

(4) 水産資源を守り育てる増殖場の整備

砂泥底が広がり漁場条件に恵まれていない播磨灘中・西部海域において、地元産石材を用いた大規模な人工増殖場を造成し、メバルやカサゴなど有用水産生物の発生及び生育に適した環境を整備することで、水産資源の維持・増大と漁業生産の安定化を図る。

事業名	地区名	造成海域	実施内容
増殖場造成	播磨灘中西部 加島南地区	男鹿島南加島地先海域	石材礁 1 基造成

(5) 中播磨地域「農産物をまもり・ひきつぐプロジェクト」 2,396 千円 (地域躍動)

中播磨では、地域の気候風土を背景に、地域を象徴する農産物として網干メロン、ゆず、葉物野菜などの生産の歴史を刻んできた。

地域農産物のブランド力を強化し、在住する消費者だけでなく観光客にも地域農産物の魅力を伝え、消費の喚起や観光促進など、農業生産振興だけでなく地域の活性化につながる取組を支援する。

① 実需者と生産者の連携活動支援

実需者（飲食店や観光業者等）と生産者が専門家の知見などを活用し、中播磨地域農産物の価値を消費者へ訴求するために実施する活動を支援する。

② 地域農産物生産体制の強化

生産・加工体制の強化や、生産技術等の改善による生産性の向上のほか、担い手づくりを支援する。

③ 中播磨地域農産物のPR

デジタルブック、パンフレット等のPR資料を作成する。



【安富ゆずまつり】

3 公民連携で取り組む地域の活性化

行政課題の複雑化・高度化が進み、行政のみでの課題解決を図ることは困難となり、公民連携の重要性が高まっている中、中播磨地域の団体・企業等と連携し、そのノウハウやネットワーク等を活かしながら、公民連携で中播磨地域の活性化、課題解決に取り組む。

- (1) 【新規】地域の持続力強化 8,210千円（地域躍動）(p. 9再掲)
- (2) 【拡充】産学官連携による「中はりま産業力」強化 1,600千円（地域躍動）
(p. 15再掲)

III ステキなご近所さんで支え合う「つながり」中播磨

1 人と人とのつながり支え合う地域づくりの推進

地域の課題解決に向けた地域団体等の活動支援による地域住民同士のつながりの創出・強化や、誰もが担い手として活躍できる地域を目指す取組を推進する。

- (1) 中播磨地域づくり活動応援事業 9,207千円（地域躍動）
 - 地域団体が他団体と協働して実施する地域課題解決につながる取組や団体自らの活動活性化のための取組（県民提案型協働事業）を支援することで、地域の元気づくりを図る。
(一般枠)
 - 地域の人が地域外の人と交流を図るための取組、子育てに関する交流など子育て家庭を応援する取組、省エネや緑化活動など環境保全への取組等を支援する。
 - (特別枠)
 - ① 「銀の馬車道」魅力UP事業
 - 日本遺産に認定された「銀の馬車道」を題材とし、地域の活性化につながる取組を支援する。
 - ② SDGs・ウェルビーイング推進事業
 - SDGsの理念である誰一人取り残さない地域社会の実現や、個人や社会のウェルビーイングの実現に向けた取組を支援する。
 - ③ 次代への継承推進事業
 - 中播磨地域で育まれてきた伝統文化を次代に継承する取組を支援する。

(2) 農福マッチングプロジェクト 4,466千円 (地域躍動)

人手不足が課題となっている農業者と求職中の障害者や就労に不安を持つ若者のマッチングを図ることで、双方の課題解決に取り組む「農福マッチングサイト」を構築。これにより農業者と福祉事業所等をワンストップでタイムリーにマッチングでき、地域の農福連携事業の推進を加速することをめざす。

今後は、農業経営の発展や障害者の社会参画を実現させるだけでなく、中播磨地域在住の農福連携技術支援者によるマッチング前後のフォローなどで、地域内での新たな交流や相乗効果を生み出し、地域活性化に寄与する体制を整えていく。

① 農業↔福祉の協力体制づくり

農業者、福祉事業所、行政等を構成員とした「中播磨農福連携協議会」において定期的に意見交換を行うほか、講演会等により農業・福祉双方への理解を深める機会を設ける。また、農福連携で栽培された地元野菜や加工された農産物等（ノウフク商品）を販売する農福マルシェを開催して、普及啓発を図る。

② 農業者の担い手確保、障害者等の雇用の創出

「農福マッチングサイト」をワンストップ型のアプリで運営することで、農業者のタイムリーな人材確保と障害者等の雇用機会の創出につながる。

③ 農業生産活動の拡大

農林水産省が進める農業と福祉両方の知見を有する専門家を育成する「農福連携技術支援者育成研修」を終了した農福連携技術支援者を農業者、福祉事業所等へ派遣し、事前の体験やマッチング後のフォローを実施する。

④ 「ユニバーサル農園」の普及・拡大

障害者以外の生活困窮者、ひきこもりの状態にある者、罪を犯した者など、子どもから高齢者までの世代や障害の有無を超えた多様な者が農業体験を通して交流していく「ユニバーサル農園」を普及・拡大し、一人でも多くの対象者が農業体験を通して生きがいをつくり、健康を確保するなどして、多様な社会課題の解決につなげる。

(3) 中播磨フードドライブの実施

食品ロスの削減を図るため、家庭で余っている食品等をごみにせず、必要とする人や福祉団体等にフードバンク団体を通じて寄附するフードドライブ事業を実施する。

(4) 地域づくり研修会の開催 81千円 (地域躍動)

地域のリーダーであり、地域づくりの中核的な役割を担っている自治会長から、県事業への協力を得るため、自治会長が県事業の必要性や遂行にあたって生じる問題点について認識を深める機会として、研修会を開催する。

2 青少年等の健全育成活動の推進

青少年等の健全育成のため、地域、行政等が連携した県民スクラム運動の展開を図るほか、スポーツや自然体験等、多様な体験活動の場を提供する。

(1) 親子、世代間ふれあい事業の実施

① 茶摘み体験会

自然や農業について考える機会として、神河町で300年の歴史ある「仙靈茶」の茶園で、茶摘みやお茶にまつわる歴史・製法等について学ぶ体験会を開催する。

② 水生生物観察会

自然環境を学ぶとともに、子どもたちの健やかな成長を図るため、管内河川の水生生物の観察会を開催する。

③ 岩田健三郎 版画教室

子どもたちの創造性、表現力を育むため、姫路を代表する版画家 岩田健三郎氏を講師に、年賀状作成の版画教室を開催する。



(2) スポーツ活動を通じた子どもの健全育成の推進

スポーツを通じて子どもたちの健全育成を図るため、地元のプロチームであるヴィクトリーナ姫路の選手によるバレー教室やA S ハリマアルビオンの選手によるサッカー教室を開催する。

(3) 青少年健全育成・非行防止啓発事業

【ヴィクトリーナ姫路 バレー教室】

青少年の健全育成を目的とするイベントやセミナー等での啓発資材等の配布により、青少年を守り育てる県民スクラム運動の積極的な展開を図る。

3 健康で安心できる暮らしづくりの推進

誰もが安心して医療を受けられ、住み慣れた地域で健康に暮らすことができるよう、子どもから高齢者まで地域ぐるみで支え合う環境づくりを推進する。

(1) 地域包括ケアシステムの構築支援

神崎郡在宅医療・介護連携支援センターと連携して、3町が主体的に取組を進められるよう、圏域の地域包括ケア推進会議の開催や、市町や医療関係団体等との連携調整等を行うことにより、郡内・圏域全体を見渡した広域連携システムの構築を支援する。

(2) 地域を支える看護人材の確保

地域医療を支える看護人材の確保を図るため、兵庫県看護協会、民間病院協会等と連携して、中・西播磨管内の病院がそれぞれの魅力を伝えるとともに、ハローワーク等の協力のもと潜在看護師のための相談等を行う「看護職合同就職説明会」の開催を支援する。

IV 次代に受け継ぐ「ふるさと」中播磨

1 安全安心な暮らしの推進

治水・地震・高潮・土砂災害対策等による災害に強い社会基盤整備や、地域防災力の向上を推進するとともに、日常に潜む犯罪・交通事故・消費者被害等への対策を講じることで、県民の安全安心な暮らしの実現を図る。

(1) 災害に強い社会基盤整備の推進

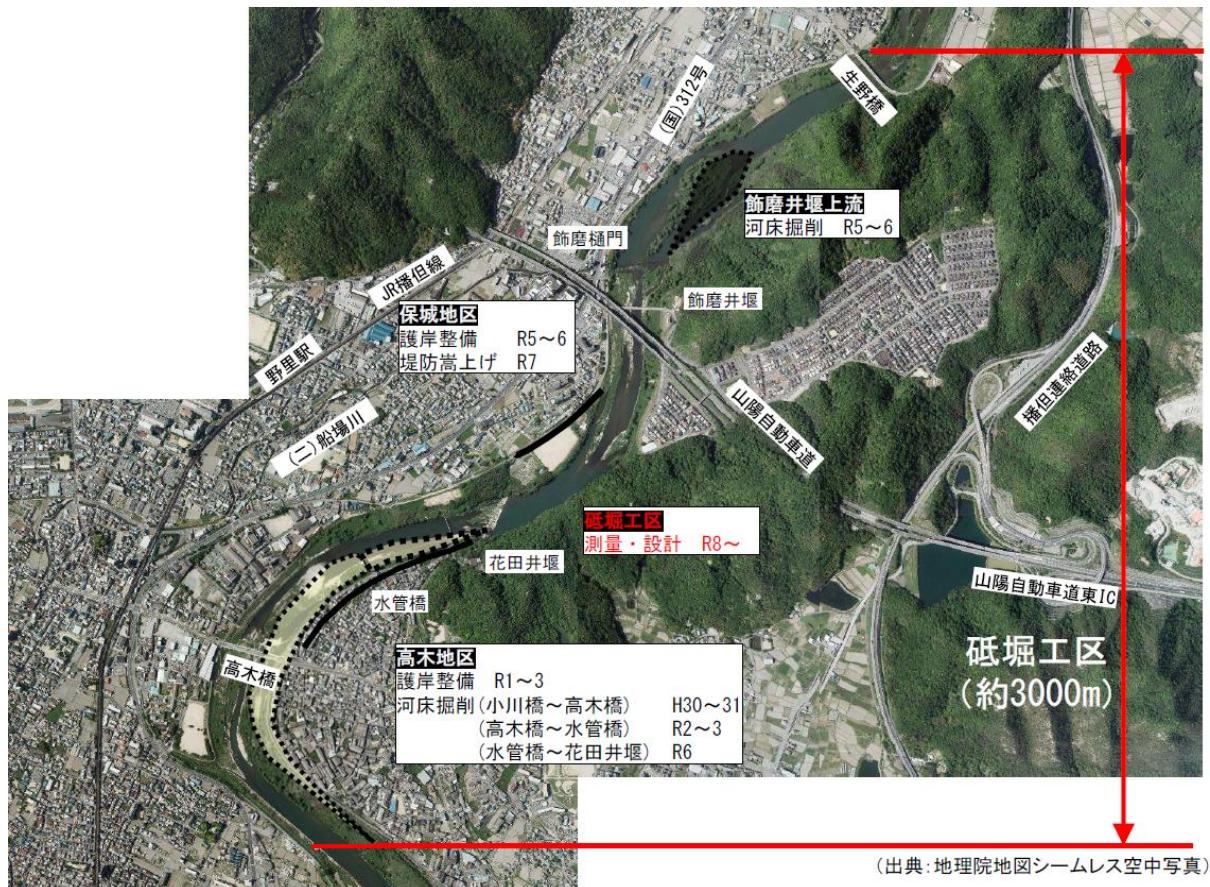
自然災害に対する安全・安心を確保するため、治水対策、地震対策、高潮対策及び土砂災害対策を進める。

① 治水対策の推進

ア 市川の河川改修

砥堀工区の河道改修計画に基づき、平成30年3月から河床掘削工事に着手。

令和8年度は、測量・設計等を進める予定。

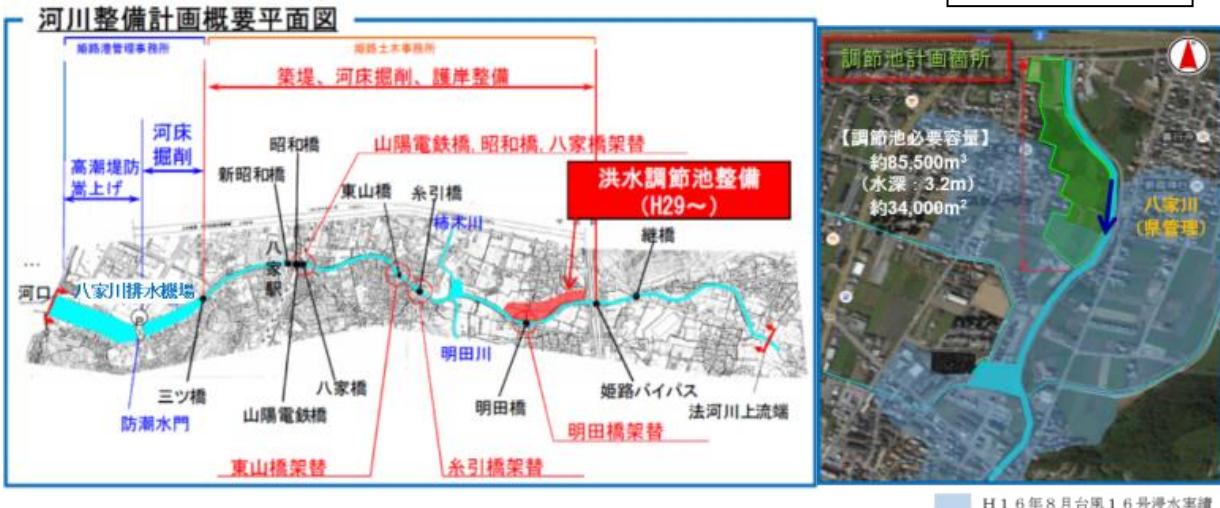


イ 八家川の洪水調節池整備

流域の浸水被害を早期かつ広範囲に軽減するため、高潮対策（八家川排水機場（H29.5完）、防潮水門（H26.9完）及び高潮堤防嵩上げ（H28完）に加え、中上流部（姫路バイパス下流）において洪水調節池の整備を進める。

令和8年度は、調節池の地盤改良工事等に着手する予定。

計画平面図



ウ 総合治水の推進

「中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画（H26.3策定、R7.3改定）」に基づき、「河川下水道対策」に加え、河川等への雨水流出を抑制する「流域対策」、浸水時の被害を軽減する「減災対策」を組み合わせた「総合治水」を県・市町・県民の連携のもと推進する。

② 地震対策の推進

災害に強い安全な道路ネットワークを構築するため、「ひょうご道路防災推進10箇年計画」に基づき、緊急輸送道路や被災した場合に社会的影響の大きい道路の橋梁耐震補強や法面防災対策を推進する。

- ・橋梁耐震補強：(主)三木宍粟線 福崎大橋 (国)250号 思案橋、新網干大橋等
- ・法面防災対策：(主)姫路神河線 姫路市夢前町山之内等

③ 高潮対策の推進

大阪湾沿岸で既往最高潮位を記録した平成30年の台風第21号等を踏まえて策定した「兵庫県高潮対策10カ年計画」に基づき、高潮対策を推進する。

- ・主な整備箇所 姫路港大津吉美地区、浜田地区

④ 土砂災害対策の推進

国の「第1次国土強靭化実施中期計画」〔2026(R 8)～30(R 12)〕にあわせて策定した、「第5次 山地防災・土砂災害対策計画(仮称)」〔2026(R 8)～30(R 12)〕に基づき、土砂災害対策を推進することにより、県土の強靭化を推進し、県民の生命と財産を守る。

ア 土砂災害対策の推進

土石流対策及び急傾斜地崩壊対策を実施する。

土石流対策 24箇所	<p>【事業継続箇所】 古瀬畠川、東尾友東川、東尾友西川、足尾谷川、吹上谷川、 クズリ谷川下谷、渕谷川、菅生川、川上左谷川、大山上谷川、 午房谷川、奥猪篠川第七右支渓、谷山川北谷川、西蒲田川、 緑兵右谷川、当田川左支渓、平石川、居屋谷川、中島川、 五社北谷川、河内川、古屋敷山川1</p> <p>【R 8 新規事業箇所】 板坂川、谷山川</p>
急傾斜地 崩壊対策 18箇所	<p>【事業継続箇所】 畑の原、みどり丘（1）、馬谷Ⅱ、白浜（3）、大河（1）、大河（2）、 西蒲田（2）（1）、青山（1）、柏尾（1）、西田中、馬谷（1）I、 多田Ⅱ、本村（2）、重行（2）、柏尾、薬師山</p> <p>【R 8 新規事業箇所】 北松原（2）I、小倉</p>

イ 流木・土砂流出防止対策

風倒木跡地などの荒廃林地からの流木・土砂対策を実施する。

- ・治山ダム：管内4箇所で整備を推進（神河町（2）、市川町（2））

ウ 災害に強い森づくり（県民緑税事業）の推進

令和8年度から5年間延長される県民緑税（第5期対策）を活用し、「緊急防災林整備」、「里山防災林整備」、「針葉樹林と広葉樹林の混交整備」、「野生動物共生林整備」、「住民参画型森林整備」などに取り組むことにより、森林の防災面での機能強化を早期・確実に進める。

（2）老朽化対策の推進

インフラ施設の老朽化の割合が増加することから、橋梁、ダム、排水機場、砂防設備、下水道等の施設について、安全性の確保はもとより、総コストの低減と予算の平準化を図るため、「ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画」に基づき、計画的・効率的に老朽化対策を推進する。

- ・道 路：橋梁の耐震補強工事に併せて実施
- ・河 川：市川潮止堰 2010（H22）～28（R10）
- ・海 岸：大江島排水機場 2020（R 2）～32（R14）
- ・港 湾：姫路港須加地区物揚場（L=163m） 2018（H30）～26（R 8）
- ・下水道：機械・電気設備（揖保川浄化センター、兵庫西流域下水汚泥広域処理場）

（3）防災リーダーフォローアップ講座の開催 192千円（地域躍動）

県では「防災減災推進条例」（平成17年4月1日施行）に基づき、阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承するとともに、いつまでも忘れることなく、安全で安心な社会づくりを期する日として、1月17日を「ひょうご安全の日」と定め、県民の参画のもと、「ひょうご安全の日」にさまざまな事業に取り組んでいる。

中播磨県民センターでは、ひょうご防災リーダーや防災士などの災害発生時におけるキーパーソンが「共助の担い手」として第一線で活躍できるよう、防災リーダーフォローアップ講座を開催する。

- (4) 「ストップ・ザ・交通事故！県民運動」啓発活動強化事業 180千円（地域躍動）
交通安全協会等と連携し街頭啓発を行うなど、地域で高齢者を守る意識の醸成や、高齢者の交通安全意識の高揚を図ることにより、交通死亡事故の減少をめざす。
また、自転車を利用するすべての人に努力義務化されたヘルメット着用等、交通ルールの遵守やマナーに関する広報啓発を、関係団体等と協働し実施する。

(5) 次世代（若者）の消費生活力向上支援事業

消費生活トラブルの未然防止・拡大防止を図るとともに、消費者が消費生活に関する知識を持ち、適切な行動がとれる実践的な能力を身につけるための消費者学習を推進する。

(6) 【拡充】重大家畜伝染病（高病原性鳥インフルエンザ等）対策の推進

県民の安全安心を守るために、県だけでなく管内市町や関係機関とも連携し、高病原性鳥インフルエンザなどの重大家畜伝染病の発生に備えるとともに、発生時には迅速な対応と被害の拡大抑止を図る。

① 発生への備え（連絡会議や机上演習等の開催）

流行期を控える秋頃に、中播磨地域重大家畜伝染病連絡協議会を開催し、発生を想定した防疫措置対応や、各事務所の具体的な役割分担等について確認する。また、県民センターに加えて、農林水産部畜産課や姫路家畜保健衛生所が参加する机上演習や防疫作業員向けの防護服着脱訓練等を実施。



【防護服着脱訓練の様子】

②（拡充）発生時の対応（迅速な殺処分・焼却）に備えた体制整備

昨年12月及び今年1月に姫路市内で鳥インフルエンザが発生した際は、作業がスムーズにできるよう防疫作業に必要な資機材の確保や食糧調達などに、県民センターをあげて取り組んだほか、本庁と連携して、殺処分及び焼却作業に、県職員だけでなく民間作業員を投入することで、迅速に措置することができた。加えて、中播磨地方本部、本庁関係課、発生農場間の連絡調整が円滑に行えるよう、オンラインコミュニケーションソフト「T e a m s（チームス）」を導入し、情報伝達の確実性や即時性を高め、関係職員の負担軽減につなげた。本庁と連携し、こうした新たな取組を全県に共有していく。

2 シビックプライドの醸成

地域の営みや地域資源を磨き上げ、その魅力を発信するとともに、地域文化や郷土史等を次代に伝える事業を実施・支援することで、子どもや若者が地域に対する愛情・誇りを感じ、住み続けたいと感じられる地域づくりを推進する。

(1) 小学生への社会基盤整備PR事業

社会基盤施設への興味や必要性の理解を促進するため、小学生を対象にイベントを実施し、将来の土木技術者を目指す人材の発掘と育成を目指すほか、社会基盤整備の魅力を伝えるとともに公共事業への理解促進、防災への意識付けを行う。

- ① 夏休みを利用して「川・道・港・まち」をテーマとした絵画を募集し、入賞作品を披露するほか、全応募作品を掲載したクリアファイルを作成することなどで、児童の参加意欲を高め、幅広い啓発につなげる。
- ② 出前講座などを活用し管内の社会基盤施設の役割や必要性を伝える。

(2) 中播磨地域ビジョンの推進 300千円（地域躍動）

2050年を展望する中播磨地域の目指す姿を描いた「中播磨地域ビジョン2050」の実現に向け、県民・団体・企業など多様な主体の参画による地域ビジョンプロジェクトが展開されるよう、フォーラムを開催するなど中播磨地域ビジョンの普及啓発を行う。

(3) 未来へつなぐ中はりまの農業水利の歴史事業 2,000千円（地域躍動）

中播磨の農業水利施設（水路〔疏水〕・ため池・井堰など）は、先人達の努力や苦労によって建設され、地域の人々に受け継がれながら現在も農業生産を支える大きな役割を果たしており、歴史的・文化的・技術的価値の高いものが数多く存在する。

このような貴重な施設を後世へ継承するため、農業生産のみならず、洪水抑制等の防災機能や多様な生物相の形成など多面的な役割を再認識するための啓発活動を支援することにより、子どもたちに先人たちの工夫や努力が息づくふるさとの良さへの理解を促進する。

また、西光寺野疏水路が令和6年度世界かんがい施設遺産に登録されたことを受けて、本歴史事業の核として啓発活動を行うとともに施設の整備等を行う。

(4) 伝統文化を通じた青少年の文化力アップ 2,250千円（地域躍動）

姫路・中播磨地域の青少年等を対象に日本の伝統文化の継承・普及・発展に寄与する事業を展開し、伝統文化を通して地域の若者のふるさと意識の醸成を図る。

① 伝統文化研修事業の実施

- ア 「青少年伝統文化セミナー」の開催など青少年の文化力アップ
- イ 「留学支援講座」「和のゲストハウス事業」の実施など国際交流と異文化理解
- ウ 「伝統文化リーダー・スタッフ養成」事業など文化発信と人材育成

② 県市連携事業の実施

姫路城周辺施設での日本舞踊等定期イベントの実施など

3 次代へつなぐ豊かな自然の維持・保全とゼロカーボン社会の実現

生物多様性の確保や森林・農地の持つ多面的機能の維持・保全など人と自然の共生を図るとともにゼロカーボン社会の実現に向けた取組を推進することで、中播磨の豊かな自然環境を次の世代へ受け継ぐ。また、次代を担う子どもたちに環境の大切さを伝える環境学習を推進する。

(1) 県市連携による家島の野生動物被害対策 300千円（地域躍動）

近年住民生活環境への出没が増加している野生イノシシによる被害防止対策のため、住民参画による実態調査とその結果に基づく効果的な捕獲手法の指導など、住民が主体的にイノシシ被害防止対策に取り組める環境の整備を姫路市と連携して推進する。

(2) 鳥獣被害対策の担い手の育成

有害鳥獣の捕獲を担う狩猟者の高齢化が進んでいることから、将来にわたり被害対策を担う人材の確保・育成に取り組む。また、狩猟マナーの向上を目指し、正しい知識と技術を持った狩猟者の育成を進めるとともに、高校生など若い世代を対象として「狩猟」を知り、理解を深めてもらう場を提供する。

- ① 銃猟およびワナ猟の経験が少ない、若しくは未経験者のうち、本格的に狩猟を続けていく意欲のある方に対し、シカやイノシシを中心とする捕獲技術等の指導を実施する。
- ② 鳥獣被害対策の担い手の確保・育成を図るため、狩猟免許取得後の狩猟未経験者を対象に狩猟研修会等を開催する。
- ③ 地元高校生等を対象にした狩猟講座（座学・捕獲模擬体験等）の開催を支援する。

(3) 野生動物の被害対策の推進

野生動物による農林業被害が深刻化・広域化しているため、捕獲による個体数管理、防護柵設置、さらには人と野生動物の棲み分けゾーンの設置などの取組を進める。

- ① シカ、イノシシ対策
 - ア 防護柵の設置の推進【設置計画：15,000m】
 - イ 県の個体数管理計画に基づく捕獲の推進【捕獲目標：3,220頭】
 - ウ シカ肉処理加工施設等でのペットフード等への加工による有効活用
 - エ 県市連携による家島の野生動物被害対策（p. 27再掲）
- ② サル対策
 - ア 県のニホンザル管理計画に基づく加害個体の捕獲強化
 - イ 群れ行動を監視し、被害の防止につなげるサル監視員の設置
- ③ その他
 - ア 特定外来生物対策（アライグマ、ヌートリア）
市町防除実施計画に基づく、箱わなの貸し出し等による捕獲の推進
 - イ 野生動物共生林の整備
「人と野生動物の棲み分けゾーン」を設置する野生動物共生林の整備の推進
【基本計画調査予定（1箇所）及び整備造成（1箇所）：2箇所】

(4) 持続可能な森林経営に向けた森づくり

成熟した人工林資源の有効活用による持続可能な森林経営の実現に向け、林内路網の整備など林業生産基盤の整備を進めるとともに、適期の間伐など適切な森林の整備を推進する。

(5) 環境学習の推進 264千円（地域躍動）

管内の小学生等が水生生物や河川環境等を学ぶ機会として、「青少年向けの体験型環境学習事業」を開催することで、環境に対する関心を高め、環境を大切にする心を育む。

(6) カーボンニュートラルポートの形成 (p. 11再掲)

(7) 中播磨フードドライブの実施 (p. 20再掲)